



# リウマチ治療 経済学



産業医 田名 毅  
首里城下町クリニック

## リウマチ外来受診や治療にあたりコスト面で不安に思ってる患者さんへ

産業医だよりでは、毎月私のクリニックで行っている 地域むけ医療講演会 YouTube 配信の内容を要約してお伝えしています。今月は「リウマチ治療 経済学」というタイトルで、当院第二クリニック院長 比嘉 啓 医師 に講演いただきました。以下に集約致します。

比嘉医師が考えるリウマチ治療の3大治療目標は

- ① 関節の痛みをとる
  - ② 将来的な関節の変形を防ぐ
  - ③ 肺・腎臓・骨粗鬆症をはじめとする臓器合併症や副作用を防ぐ
- おまけは**財布にやさしい**です。

関節リウマチ診療ガイドライン 2020 薬物治療アルゴリズムを比嘉医師が分かりやすく作図したものが下図です。

多くの患者さんは赤で囲んだ**メト**

**トレキサート**を使用した標準的な

治療により治療目標が達成され

ます。この治療を行う上で、**メト**

**トレキサート**の効果が出るまでの

3か月間は右端にある**プレドニ**

**ン**を使用し患者さんの痛みを早

めに軽減するようにしています。

**プレドニン**は昔からよく使われる薬で、

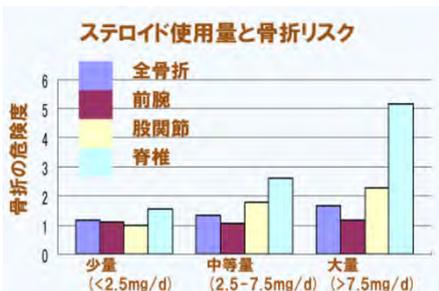
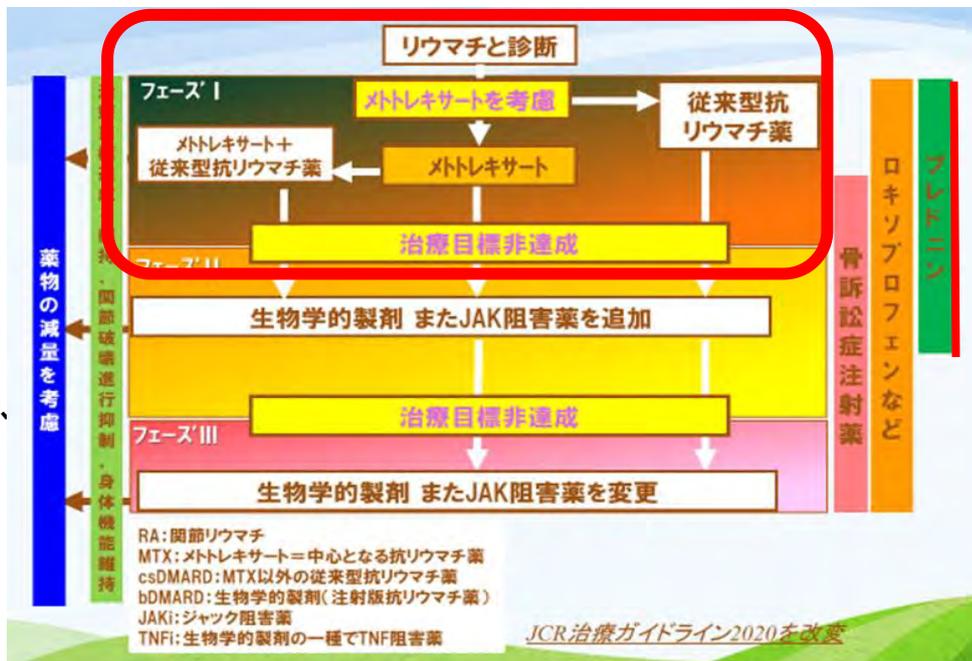
いい薬なのですが副作用に注意

が必要です。

**プレドニン(ステロイド)**は使用する量

が多くなるほど骨折の危険性が

高くなること分かっています。なるべく長期に多量の使用は避けることが重要な薬剤と言えます。

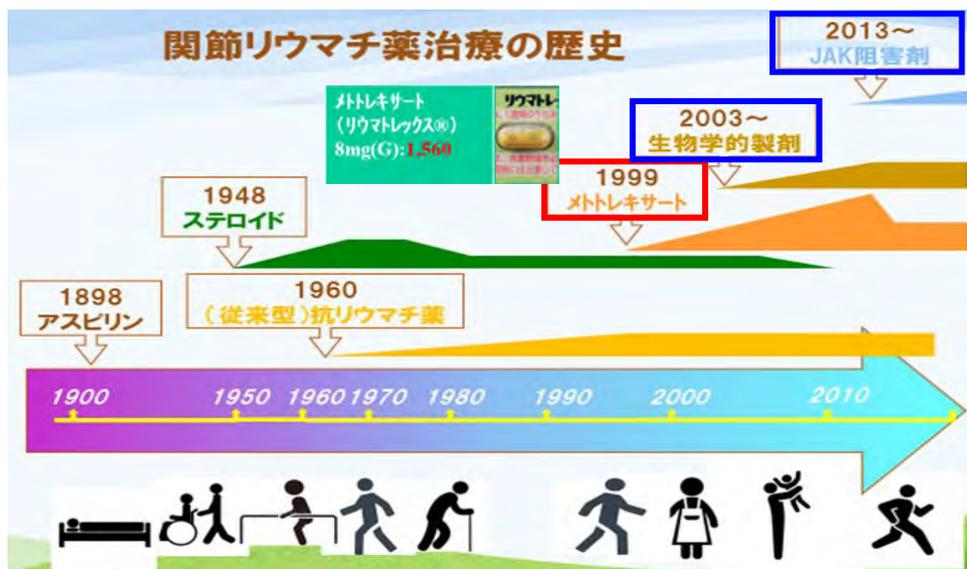


ステロイドの副作用 骨粗しょう症  
\*プレドニン5mg=90円

では、**メトトレキサート**に効果がなかったときはどのような薬が使われるようになってきているのでしょうか？  
リウマチの薬の開発の変遷をみながら説明します。

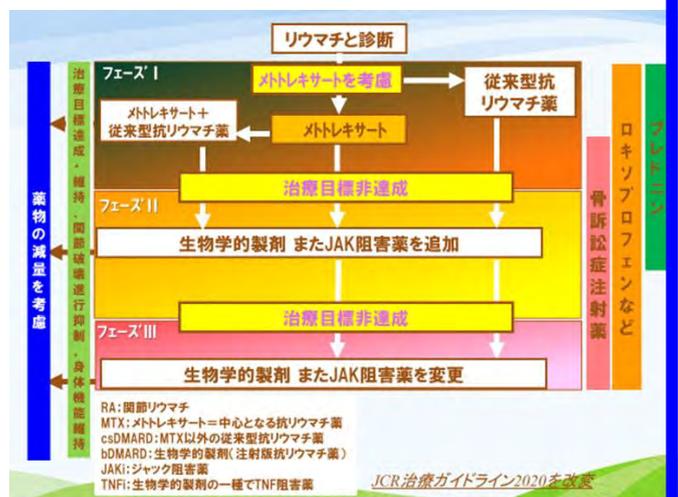
### 従来型抗リウマチ薬

サラズルファピリジン (アザルフィジン®) 1000mg(G): <b>910</b>	
ブシラミン (リマチル®) 200mg(G): <b>1,040</b>	
イグラムチド (ケアラム®) 50mg(G): <b>2,710</b>	
タクロリムス (プロgraf®) 3mg(G): <b>12,440</b>	
レフルノミド (アラハ®) 20mg: <b>5,200</b>	



1999年にリウマチ治療の革命とも言われた**メトトレキサート**が使用されるようになり、その後2003年の**生物学的製剤**、2013年の**JAK阻害薬**が新薬として生まれました。現在は、**メトトレキサート**を使用した標準的な治療に加え、これらを使った治療が行われるようになりました。

**生物学的製剤とJAK阻害薬の治療はコスト面で懸念されがちです**



今回のテーマであるコスト面に話を移し、まずは**生物学的製剤**と**JAK阻害薬**の金額を紹介します。

**生物学的製剤 3割自己負担で1か月に1.8万~3.5万円**

**生物学的製剤 バイオシミラー(ジェネリックのようなもの) 0.7万~1.7万円**

**JAK阻害薬 4万~4.5万円** いずれも1か月3割自己負担の場合です。



これらの治療薬は大変高額ですが、関節破壊の進行を抑え、患者さんの生活の質を落とさないためには**重要な薬剤**と言えます。全国のリウマチ治療の調査より治療薬の使用状況は以下の通りです。

**従来型の抗リウマチ薬 95%**(うち**メトトレキサート 63%**)

**生物学的製剤 23%**

**JAK阻害薬 0.9%**

**プレドニン(ステロイド) 42%** この結果より、高い薬も必要なときは使用されているのがわかります。



さいごに、比嘉医師からのメッセージです。



### リウマチの治療費が高いと悩んでいる患者さんへ

中断したり受診に躊躇すると  
変形・後遺症がたくさん残ってしまいます。

治療費については  
検査・薬代を減らしたり、色々な制度を活用するなどあります。

ぜひかかりつけ医療機関に相談してください。



## 第 231 回首里城下町クリニック地域むけ医療講演会

テーマ：『メタボ脂肪肝とアルコール性肝疾患』

日時：令和5年9月13日（水）午後7時～配信

YouTube 配信

講師：なかよし内科クリニック 医師 前城 達次 先生



その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック『働く人健康支援室』は、



産業医・内科医  
高血圧が専門です  
田名 毅

あなたの **相談窓口** です！

### 相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。  
事前にお電話の上、いらしてください。

★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。  
事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も随時行っています。



保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー CDA  
認定産業看護師  
公認心理士 田名彩子



保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー CDA  
與儀雅代



### 連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室  
098-885-5000

携帯 080-4312-9200(田名彩子)  
メール [sien@sjc.dr-clinic.jp](mailto:sien@sjc.dr-clinic.jp)(働く人健康支援室)

プライバシーは守ります。  
お気軽にご利用下さい！